

## II 事業の概要（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

平成24年度は、事業計画書に基づき経費の節約と効率的に事業を推進し、本県沿岸漁業の振興と県民生活の向上に貢献するとともに、公益財団法人として公平性と透明性を確保するよう努めた。

### 1 漁業振興公害対策事業

漁業振興基金基本財産運用収入に、年度途中で一本釣漁業者団体から提供のあった種苗放流協力金等を加え、事業費20,503千円で、沿岸漁業振興に係る次の事業を実施した。

#### (1) 実施事業別一覧

事業名	地域振興事業	広域振興事業
① 漁業振興対策事業 (18,553千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種苗放流事業 焼津漁協 (55千円)</li> <li>・ 漁業施設整備事業 御前崎漁協等12件 (15,395千円)</li> <li>・ 漁協合併合理化事業 伊豆漁協(103千円)</li> <li>・ 漁港関連整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要魚種増殖対策事業 県桜エビ組合(300千円)</li> <li>・ 磯焼け対策事業 磯焼け対策協(200千円)</li> <li>・ 漁業開発調査指導事業 漁連(400千円)</li> <li>・ 漁協合併推進事業</li> <li>・ 種苗放流事業 漁業振興基金 クエ種苗放流(2,100千円)</li> </ul>
② 漁業公害対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁場監視対策事業</li> <li>・ 公害対策関連事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公害対策研修会等 漁業振興基金</li> </ul>
③ 漁業環境保全対策事業 (600千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海底清掃事業</li> <li>・ 障害物除去事業</li> <li>・ 漁業漁場環境等体験学習 はまなこ里海の会 (550千円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域的海岸・海中清掃事業 浜名湖をきれいにする会 (50千円)</li> <li>・ 流沈木対策事業</li> </ul>

④ 教育広報事業 (1,350 千円)		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 漁業者等育成事業              漁 連              (1,100 千円)</li> <li>• 広報事業              漁 連              (250 千円)</li> </ul>
合 計 (20,503 千円)	(16,103 千円)	(4,400 千円)

## 2 栽培漁業推進事業

栽培漁業基金基本財産運用収入、県補助金、市・町や漁業者の負担金等をもとに、当初事業予算 52,844 千円で、資源増大推進普及事業（補助事業）及び地域栽培漁業推進事業（負担金事業）並びに放流効果実証事業（基金独自事業）を実施した。

種苗の受入量は、マダイでは静岡県温水利用センター沼津分場の種苗生産で不調が発生し予定数量を下回ったが、ヒラメはほぼ予定量を受け入れた。それぞれ中間育成を行い、マダイ 1,009 千尾、ヒラメ 244 千尾を放流した。

なお、東日本大震災に関連した浜岡原発の停止による温水利用研究センターの種苗生産に対する影響が懸念されたが、国・県等により温水ボイラーの整備や供給ポンプの設置等が行われ、種苗生産はおおむね順調に行われた。

### (1) 資源増大推進普及事業及び地域栽培推進事業

伊豆地域及び榛南地域で資源増大推進普及事業と地域栽培推進事業をそれぞれ一体的に実施するとともに、中部地域で地域栽培推進事業を実施した。

#### ア. マダイ放流事業

##### (ア) 伊豆地域

伊豆地域では、温水利用研究センター沼津分場から 20～30 mmサイズのマダイ種苗を 100 万尾購入し、中間育成後に放流する計画であったが、沼津分場の種苗生産過程で不調が発生し、温水利用研究センター（本所）から種苗を追加し、資源増大推進普及事業で 415 千尾、地域栽培推進事業で 450 千尾、合計 865 千尾を受け入れた。

これをいとう漁協網代支所、伊豆漁協田子支所、内浦漁協に委託して平均 60 mm以上のサイズに中間育成し、各地の漁業者の協力により伊豆東岸地先に 314 千尾、伊豆西岸地先に 258 千尾、合計 572 千尾を放流することができた。放流尾数 700 千尾の目標に対し 82%の達成率であったが、放流魚の活力は高く健全な稚魚が放流できた。

また、放流後の減耗防止と定着率向のための音響給餌を、沼津地区幼稚仔保育場管理運営委員会に委託し、沼津市久料幼稚仔保育場において実施した。地元運営委員会は、久料沖の幼稚仔保育場で適切に音響給餌作業と施設管理等を行うとともに集魚状況の調査を行った。地元青壮年部等が設置した粗朶礁の効果もあり、幼稚仔保育場に相当量の滞留が観察された。

#### (イ) 榛南地域

榛南地域では、30 mmサイズのマダイ種苗を静岡県温水利用研究センター本所より資源増大推進普及事業で 397 千尾、地域栽培推進事業で 150 千尾、合計 547 千尾を受け入れた。地頭方漁業協同組合に中間育成を委託し、歩留りは 60%で、60 mm以上の稚魚 329 千尾の放流ができた。

385 千尾を放流する全体計画に対して、達成率は 85%となったが、十分に活力のある稚魚が放流できた。榛南各地先への放流は、地元地域漁業者の協力の下で行われた。

#### (ウ) 中部地域

中部地域では、地域栽培推進事業により、30 mmサイズのマダイ種苗を計画を上回る 220 千尾受け入れ、中間育成を小川漁協に委託し、60 mm以上の稚魚 107 千尾の放流ができた。中間育成の歩留り 49%、計画 140 千尾に対する放流尾数の達成率は 76%であった。各地先漁業者の協力により、田子の浦～大井川港の 7 地先に放流できた。

### イ. ヒラメ放流事業

榛南地域のヒラメ放流事業は、平均 30mm以上のサイズのヒラメを静岡県温水利用研究センターから資源増大推進普及事業で 220 千尾、地域栽培推進事業で 200 千尾、合計 420 千尾を購入し、これを温水利用研究センター(陸上池)で 60 mm以上のサイズに中間育成し、吉田から御前崎の地先へ 232 千尾を放流できた。中間育成の歩留りは 55%で、放流尾数の達成率は 92%であった。

ウ. 事業別・地域別マダイ及びヒラメ中間育成・放流結果一覧

(ア) 資源増大推進普及事業

魚種	マダイ					ヒラメ
	伊豆				榛南	
対象海域	網代	田子	内浦	計	地頭方	温水センター
中間育成場	網代	田子	内浦	計	地頭方	温水センター
中間育成尾数(千尾)	204	51	160	415	397	220
沖出し時全長(ミ)	31	31	29	29~31	31	34
放流尾数(千尾)	142	34	107	283	240	125
放流時体長(ミ)	67	71	75	67~75	75	61
実施時期	6月～8月					4月～8月

(イ) 地域栽培推進事業

魚種	マダイ						ヒラメ
	伊豆				榛南	中部	
対象海域	網代	田子	内浦	計	地頭方	小川	温水センター
中間育成場	網代	田子	内浦	計	地頭方	小川	温水センター
中間育成尾数(千尾)	218	127	105	450	150	220	200
沖出し時全長(ミ)	31	31	29	29~31	31	30	34
放流尾数(千尾)	116	86	88	290	90	108	107
放流時体長(ミ)	67	71	75	67~75	75	64	62
実施時期	6月～8月						4月～8月

資源増大推進普及事業及び地域栽培推進事業の合計

魚種	マダイ						ヒラメ
	伊豆				榛南	中部	
対象海域	網代	田子	内浦	計	地頭方	小川	温水センター
中間育成場	網代	田子	内浦	計	地頭方	小川	温水センター
中間育成尾数(千尾)	422	178	265	865	547	220	420
沖出し時全長(ミ)	31	31	29	29~31	31	30	34
放流尾数(千尾)	258	119	195	572	329	108	232
放流時体長(ミ)	67	71	75	67~75	75	64	61~62
実施時期	6月～8月						4月～8月

## (2) 放流効果実証事業

沼津地域のヒラメについては、沼津市漁業協同組合青壮年部連絡協議会へ 60 千尾の中間育成を委託した。静浦漁協活魚棟内で、角型水槽 5 槽、円形水槽 2 槽の内部に網を張り、21～30 日間の中間育成を行い、36 mmサイズのヒラメ稚魚を 63 mmまで成長させ、沼津市地先へ 12 千尾を放流できた。水槽への注水不足等が今後の課題として挙げられた。小学生の体験放流を併せて実施した。

浜名湖のクルマエビについては、予定どおり 2,000 千尾を購入し、浜名漁協へ中間育成を委託した。放流尾数は 948 千尾で、歩留りは 47%であった。今後も、漁協の自主放流や水産技術研究所浜名湖分場の資源添加率向上技術開発研究と連携し、放流効果の実証に努めていく必要がある。

放流効果実証事業中間育成・放流結果一覧

魚 種	ヒ ラ メ	ク ル マ エ ビ	
対 象 海 域	沼 津 市	浜 名 湖	
中 間 育 成 場	静 浦	浜 名 湖	
中間育成尾数(千尾)	60	960	1,040
沖出し時体長(mm)	36	15.8	16.1
放 流 場 所	獅子浜、江梨、三津、御浜他	村櫛	雄踏
放 流 尾 数(千尾)	12	386	562
放流時体長 (mm)	63	23(飼育9日)	22(飼育9日)
実 施 時 期	4～5月	8月～9月	